

好学尚武

練習試合の結果

4月14日（日）対大宮東高校
第1試合 4対4 引分
通算成績 21勝 3敗 2分

地区大会雑感

高校野球界、実はこの4月から様々なルール変更がありました。中でも大きな影響を与えていること・・・それは、低反発バットの使用です。

先日まで行われていた南部地区の試合（全26試合）、スタンドインのホームランが1本もなかった・・・そう書こうとしていましたが、最終試合で川口市立・高木選手が打ちました（完璧な打球でした）。ただ、全体を通して飛距離のある打球は大幅に減りました。

こうなると何が大事でしょう？これは指導者それぞれ考えあると思いますが、私は、より鍛えて低反発のバットでも飛ぶようにする、ではなく、守備力を強化することだと考えます。

低反発のバットを導入することにより、内野手が守りやすくなったと思います。定位置へ来るまでに打球の勢いがなくなり、処理しやすい状態になっていることが明らかに多くなりました。アウトにするべき打球をよりしっかりアウトにする。また、投手が余計な四死球を出さない・・・その辺がキーワードかな・・・と感じています。

観戦する皆さんにもバットが変わったことによる試合内容の変化に気づいていただければと思います。

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R6. 4. 19

発行ナンバー 1081号

（松本主将の代・・・67号）

市営浦和球場主任

身体が3つぐらい欲しいです。

（クラス担任としての仕事できていません）
それぐらい慌ただしい日々を過ごしています。

今年度から隣、市営浦和球場の球場主任になりました。身の引き締まる思いです。この春の地区大会、市営浦和球場では4日間で11試合行われましたが、本部で1日勤務していると本当に様々なことが起きます。その1つ1つに対して責任者としての的確な判断・指示をしていかなければならないので大変・・・久しぶりに、家に帰って何もせず倒れるように眠ってしまった日がありました（現役高校生時代以来か・・・笑）。

大会時、選手には（自分のプレーで精一杯にならず）少し余裕を持って球場全体を見渡すようにして欲しいと思います。そうすれば多分、自分が思う存分プレーする環境を作っていただいている方の存在に気付くと思います。そういう気付きが（物事を様々な方面から見るといふ）人としての成長に結びつくのでは・・・私はそう思います。

私自身も現役時代、思う存分、高校野球を満喫させていただきました。少しでも恩返しができるよう（少々の疲れなど言い訳にせず）頑張りたいと思います。

市営浦和球場は、夏の選手権大会も1回戦から4回戦まで使用される予定です（春の県大会では使用されません）。また、球場の名称が変わる・・・というような話も聞いています。

引き続き、よろしくお願い致します。